

## 申請医療機関(大阪大学歯学部附属病院)からの報告について

### 1. 当該技術について

- ・ 告示番号：旧 53(令和8年6月1日付けで告示番号 35に変更)
- ・ 告示日：令和6年6月1日
- ・ 医療技術名：自己脂肪組織由来多系統前駆細胞を用いた歯周組織再生療法
- ・ 適応症：重度歯周炎(従来の歯周組織再生療法ではその治療に係る効果が認められないものに限る。)
- ・ 医療技術の概要：別添のとおり

### 2. 経緯の概要

- ・ 書面同意取得前における研究関連検査の実施、および、事務手続き上、研究分担医師に含まれていなかった医師による脂肪採取があったことについて、報告を受けた。認定再生医療等委員会に速やかに報告したうえ、同委員会の意見に基づき、再発防止策について対応をしている。現在、新規同意取得は停止している状態と確認済み。

### 3. 医療機関からの報告の内容

- ・ 資料7-2のとおり

### 4. 今後の対応について

- ・ 再発防止策について適切かどうか
- ・ 当該医療機関に確認・指摘すべき事項がないか、ご確認・ご議論いただきたい。

概要：自己脂肪組織由来多系統前駆細胞を用いた歯周組織再生療法  
 適応症：従来の治療法では十分な歯周組織欠損の再生が見込めない辺縁性歯周炎

術前・術後の骨欠損解析

歯科用CBCT



CT画像診断装置



- ・術前診断→歯槽骨欠損形態の解析
- ・術後診断→歯槽骨再生量の三次元的解析

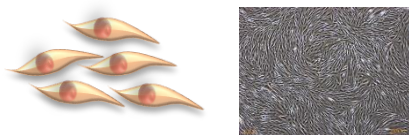
ADMPC移植



- ・観察・評価→移植36週後まで
- ・主要評価項目  
→CALの獲得量
- ・副次評価項目  
→新生歯槽骨増加率  
歯周組織検査値（CAL除く）

脂肪採取

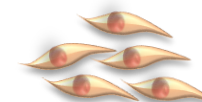
幹細胞単離・培養



ADMPC  
 (自己脂肪組織由来多系統前駆細胞)

細胞輸送

ADMPC移植体の作成



ADMPC



歯科用骨補填材  
 サイトランス®グラニュール

Adipo Medical Technology社



ADMPC製造

重度の歯周組織欠損

\*従来の治療方法

- ・エムドゲイン
- ・リグロス

スペースメイキング能、  
賦形性に問題がある

歯周組織欠損部に歯科用骨補填材とともに使用

→歯周組織再生による歯の喪失リスク低減および咀嚼能率向上による患者のQOL向上に寄与する